

新たな振興計画(素案)における
「ウチナーネットワークの継承・発展」
「多文化共生社会の構築」
「世界の島しょ地域等との国際協力活動と国際的課題への貢献」
に向けた施策について

沖縄県文化観光スポーツ部交流推進課
令和3年8月6日



10.30 世界のウチナーンチュの日
WORLD UCHINANCHU DAY

1. これまでの取組、成果等

① ウチナーネットワークの継承・拡大について、県系人を中心に多角的な交流、次世代のウチナーネットワークの担い手育成に取り組んだ。

(県系人子弟等留学生の受入、本県若者の海外県人会への派遣、世界のウチナンチュ大会の開催、10月30日の世界のウチナンチュの日に際して世界各地で沖縄に関する取組の実施等)

② 多文化共生型社会の構築に向け、在住外国人の支援や、県民の異文化理解や国際活動等に対する理解の促進を図る取組を実施した。

(シンポジウム開催、モデル事業実施、県内小中学校等へ国際交流員派遣等)

③ アジア・太平洋地域における国際的な共通課題の解決に向け、地理的特性とこれまで培った経験や知識を生かし、様々な分野における国際協力・貢献活動の推進に取り組んだ。

(JICA沖縄と連携し、連携協定に基づき、水道、環境、地域保健医療、IT、水産、土木建築等の各分野において、海外からの研修員受入や途上国への技術協力を実施)



諸見里青年会によるエイサー指導の様子



本番当日のイベントの様子

海外県人会に芸能指導者を派遣し、芸能指導及び世界のウチナンチュの日関連イベントの開催を支援

※写真はH30オハイオ州沖縄友の会と諸見里青年会

2. 現状・課題

- ① ウチナーネットワークの継承・拡大について、世代交代が進み、ウチナーンチュとしての意識、アイデンティティーの低下が懸念されていることから、移住・移民の経緯や困難を克服してきた歴史等に対する理解促進等を図りつつ、世界のウチナーンチュのネットワーク継承や次世代の担い手の育成に取り組む必要がある。
- ② 本県の外国人登録者数は年々増加しているため、国籍や民族に関係なく誰もが安心して暮らせる社会の構築に向け、県民の異文化・国際理解の向上など、海外からの移住者・滞在者増加に対応した環境づくりに取り組む必要がある。
- ③ 国際協力・貢献活動の推進について、JICA沖縄センターをはじめとする国際的なネットワークや国際協力の知見を有する専門機関と連携・協力し、国際協力・貢献活動を推進していくことが、今後も求められている。

ウチナーネットワークとは

- ① 海外及び県外に移住した沖縄県出身者やその子弟のウチナーンチュ（沖縄県系人）
- ② 沖縄県民
- ③ 沖縄と縁のある人々との多元的なつながり

文化活動や経済活動など多分野における交流を通じて形成されるネットワークのこと



3. 「新たな振興計画」に位置づける施策

基本施策	4-(2) 沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成
主要指標	外国人観光客の沖縄旅行に対する満足度(空路、海路)

施策展開 ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展		
施策①	国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流	成果指標	「世界のウチナーネットワーク」サイトのアクセス数
施策②	交流の架け橋となる人づくり	成果指標	海外留学・交流派遣数(累計)

施策展開 イ	多文化共生社会の構築		
施策①	在住外国人等が住みやすい地域づくり	成果指標	在留外国人数
施策②	県民の異文化理解・国際理解の促進	成果指標	おきなわ国際協力・交流フェスティバルの参加者数

施策展開 ウ	多角的な交流の推進		
施策①	観光交流、経済交流等の推進	成果指標	MICE開催件数
施策②	沖縄の文化を通じた交流	成果指標	県が支援した文化交流イベントの来場者数

基本施策	4-(3) 世界の島しょ地域等との国際協力活動と国際的課題への貢献
主要指標	国際協力・貢献活動に関わった海外研修生受入団体数

施策展開 ア	多様な分野における国際協力・貢献活動の推進		
施策①	環境・エネルギー分野における国際協力の推進	成果指標	環境分野における国際会議等への県の参加回数
施策②	水道分野における国際協力の推進	成果指標	水道事業等における研修受講人数
施策③	農林水産分野における国際協力の推進	成果指標	農林水産分野における研修受講人数
施策④	保健衛生分野における国際協力の推進	成果指標	感染症対策等に関する研修会の参加人数
施策⑤	建設技術による国際協力の推進	成果指標	建設分野における研修受講人数

施策展開 イ	国際的な災害協力の推進		
施策①	国際的な災害支援体制の構築	成果指標	防災分野における研修受講人数

4. 各施策における取組

【4-(2)-ア-①】国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流

主な取組

- 10月30日の「世界のウチナーンチュの日」にちなんで世界各地で実施する沖縄に関する様々な取組等を通じて世界のウチナーネットワークを強化
- 県民や県系人等に対し、移住・移民の経緯や困難を克服してきた歴史、沖縄の文化等に対する理解促進
- 次世代の担い手の育成
- JICA等と連携し、オンラインを活用した相互交流、WEB・SNS等による情報発信、歴史継承等を多言語で担うプラットフォームを構築



成果指標

「世界のウチナーネットワーク」サイトのアクセス数



【考え方】

世界のウチナーネットワークの継承と発展に向けて取り組むことにより、沖縄や世界のウチナーネットワークへの興味・関心を高め、「世界のウチナーネットワーク」WEBサイトへのアクセス数の増加につなげる。

4. 各施策における取組

【4-(2)-ア-②】交流の架け橋となる人づくり

主な取組

- 本県出身移住者子弟等の県内大学受入れ等により海外県系人社会等と沖縄との架け橋となる人材を育成
- 県内若者を海外に派遣し、県系人との交流等を通じて国際的な視野を持った人材を育成



- ウチナーンチュ子弟等留学生受入事業
ぶくぶく茶体験の様子

成果指標

—

4. 各施策における取組

【4-(2)-イ-①】在住外国人等が住みやすい地域づくり

主な取組

地域や公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団等と連携し、

- 多言語ややさしい日本語による情報発信
- 在住外国人の地域社会参画への支援
- 沖縄での生活に関する各種相談の実施
- 医療通訳ボランティアや災害時に備えた外国人支援サポーターの育成



『やさしいことば（にほんご）ワークショップ
～みんなで台風にそなえよう！～』
講師：稲垣暁氏 主催：県・宜野湾市 2020.2.9

成果指標

在住外国人数

【考え方】

在留外国人が住みやすい地域となる取組を促進することにより、在留外国人の増加につながる。

4. 各施策における取組

【4-(2)-イ-②】県民の異文化理解・国際理解の促進

主な取組

市町村や関係団体等と連携し、

- 県民向けのシンポジウムの開催
- おきなわ国際協力・交流フェスティバル

(JICA沖縄センター主催)への参画

を通じ、県民が文化・教育等の相互交流を通して

お互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくりに取り組む。



『シンポジウム～知ろう、話そう、
私たちにできること～』
ダイバーシティ研究所 田村 太郎氏
2020.1.13

成果指標

おきなわ国際協力・交流フェスティバルの参加者数

【考え方】

おきなわ国際協力・交流フェスティバルは、国際協力・交流関連団体や学校等によるブース展示、参加型ワークショップ等を実施しており、本イベント参加者が増えることで、県民の異文化理解・国際理解につながる。

(令和2年度はコロナ禍により一部オンライン開催。フェスティバル特設Webサイトのアクセス数を確認。)